

# 教育現場における社会的障壁と合理的配慮

## ～職務を果たせる環境を求めるために～



障害者差別解消法及び改正障害者雇用促進法の施行のもと、聾学校以外の特別支援学校や小学校・中学校・高等学校に勤務する聾・難聴教職員が増え、その勤務実態は多様化しています。また、聾学校では子どもたちの実態が多様化しており、軽中等度難聴児、人工内耳装用児、発達障害や他障害を併せ有する子どもたちの教育的ニーズへの対応が求められています。

そのような中、コミュニケーション保障の整備を進め人間関係を構築し、周囲の理解を得て職務を果たせる環境を整えようとしている教職員もいます。一方で、「合理的配慮」という法律的な義務がありながらも、人材及び予算を理由に要望がなかなか通らないなど、個々のアプローチだけでは解消できない諸問題が依然としてあります。

本研究会で、基本に立ち返って合理的配慮とは何かを理解し、数々の事例をもとに、権利という側面から社会的障壁と合理的配慮について建設的に話し合ってみませんか。

**6/4(日)**

13:00~17:00

(受付開始 12:40~)

zoom によるオンライン  
研究会(情報保障あり)

私達にも、聞こえる先生と同様に能力を発揮し、さらに磨き権利があるのは分かっているのだけど…



権利としてだけで合理的配慮を求めていくのは難しい気がする…



合理的配慮のコンセプトについて本質的に理解できていますか。基本的な内容を理解し、社会的障壁と合理的配慮について一緒に考えてみましょう！



### 指導・助言者

**前田 浩 氏**

(特定非営利活動法人  
大阪ろう就労支援センター  
理事長、全国聴覚障害  
教職員協議会初代会長)



### 内 容

- 1) ミニレクチャー  
「合理的配慮とは」 前田 浩 氏
- 2) 話題提供①  
「第28回どさんこ・みちのく聴覚障害教職員研修会 in 山形の報告」 中村 孔一 氏  
(福島県立聴覚支援学校平校 教諭、  
北海道・東北地区聴覚障害教職員懇談会 副会長)
- 3) 話題提供②  
「専任通訳の制度について」 棚田 茂 氏  
(埼玉県立特別支援学校 坂戸ろう学園 教頭)
- 4) 話題提供③  
「各々の情報保障の取組の紹介」  
全国聴覚障害教職員協議会 研究部
- 5) グループ協議、発表
- 6) 指導・助言者によるまとめ

**参加申込**  
締切 5/26(金)

ふるってのご参加を  
お待ちしております

【参加費】 会員 1500円 非会員3000円(学生1000円)

【参加申込】 右のQRコードを読み取ってお申込みください。

\*お申込みの際に入力いただいたメールアドレス宛に、  
研修に参加するためのzoomのURLやID、パスコード等をお送りします。

申込フォームQRコード



【申込先・問い合わせ先】 全国聴覚障害教職員協議会 研究部 zencyoken@gmail.com